

3 回目の質問でございますが、2 点の要望をしたいと思います。

1 点目は教科書採択についてです。

中学校の教科書採択が今夏に決まると伺っております。

「心を育てる道徳教育」、「魂を育てる歴史教育」ということを言っても過言ではないかと思えます。

しっかりとした知・徳・体のバランスの取れた子どもに育てもらう為には、そのお手本となる教科書の採択も、重要な要素を含んでいると思えます。

より良い教科書の採択を強く希望いたします。

2 点目は中高一貫校についてです

県内のつくば市にある並木高校は、2007 年に中高一貫校としてスタートし、4 年目を迎えました。生徒の通学範囲は 50%弱が地元つくば市内で、その他 50%強は水戸や県内の近隣市町村からの通学者で、現在 4 学年合計で 555 名在籍されています。

実質の偏差値等は未公開の為、データは入手は出来ませんでした。着実にこの 4 年間で実力を伸ばし、年々偏差値は右肩上がりだ推移していると伺っております。

来年の 2012 年には、日立市にある日立一校が中高一貫化に向けてスタートを切っています。また、隣の古河市にある総和高校は、2013 年を目処に中高一貫校に向けて準備中との事です。

結城市にある結城一校も伝統校でもあります。

ここで、結城一校を中高一貫校にし、優秀な生徒を地元結城で育てること。

さらに、現在通学の流出超過人口が 873 人ほどおりますので、1 学年 120 名を 6 学年の学校にするだけでも、720 人の学校になります。

流出超過どころか、流入超過を見込めます。

教育面はもとより、産業面にも大きな期待が持てると思います。

是非、結城一校の中高一貫校が実現するように取り組んでいく事を要望として、質問を終わります。